農業ひろさき

2012年1月1日
（平成24年1月1日）
（第71号）

編集と発行
弘前市農業委員会
弘前市大字上白銀町1−1
電話（0172）40−7104
印刷　㈲新和印刷

弘前産りんごのPRへ 農業委員有志が、りんご提供

弘前産りんごの消費宣伝と、りんごの街弘前の観光PRに役立ててもらおうと、市農業委員会（横沢由春会長）の農業委員有志が自ら生産したりんごを提供しました。

祝 東北新幹線全線開業1周年！ りんごをふるまい

12月4日、JR弘前駅で東北新幹線全線開業1周年記念イベントが開催されました。

イベントでは、りんごのPRのため、サンふじと王林それぞれ1個ずつと販促チラシを入れた袋を250人分用意し、農業委員有志を代表して運営委員5人が、弘前へ降り立ったばかりの乗客へ配りました。

葛西市長もイベントの合間をぬって駆けつけ、来弘者は笑顔でりんごを受け取っていました。

観光客へりんごをふるまう横沢会長（右）

PR活動に活用を！ 市へりんごを寄付

農業委員有志を代表して横沢由春会長と山本修平会長職務代理者は12月1日、市長室を訪れ、葛西憲之市長にりんご29箱（サンふじと王林）を贈呈しました。

目録を受け取った葛西市長は「りんごの生産量が少ないと言われるなかでの寄付は、大変ありがたく感謝します。首都圏などでのPR活動に活用します」と述べました。

葛西市長へ目録を手渡す横沢会長（左）

年頭にあたって

弘前市農業委員会
会長　横沢由春

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、福島第一原子力発電所事故により放射性物質の汚染の拡大が農産物への風評被害を招き、秋にはTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）への交渉参加に向けた関係国との協議に入ることを政府が決定するなど、農業に携わるものにとって激動の年であったといえます。

このような中で、当市の基幹作物であるりんごは、花芽不足や春先の天候不順に悩まされながら、生産者の方々が安全で食味の良いりんご生産に努めましたが平成3年の台風19号による被害以来の記録的な減収となりました。

また、米についても、田植え後の低温・日照不足で生育が遅れ、出穂期に高温の日が続き回復したように見えましたが、収量は平年を下回る結果となりました。

昨年の原子力発電所事故により、消費者はこれまで以上に農産物に対して安全性を求めておりますので、消費者に喜ばれる安全・安心な農産物の生産に努めていかなければならないと思っております。

農業を取り巻く状況は、年々厳しさを増していますが、当農業委員会としては、優良農地の確保に努めるとともに、地域農業振興・発展のため、委員一丸となって活動して参ります。

本年も当農業委員会の各種業務に変わらぬ御理解と御協力をお願い申し上げまして、年頭のあいさつといたします。

弘前市独自の農産物等放射線モニタリング調査 終了のお知らせ！

福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故による農産物等への風評被害を一掃するため、5月から毎月1回実施してきたモニタリング調査は11月で終了しました。11月の調査結果は下記のとおりです。

なお、平成23年12月から平成24年3月までは、県がモニタリング調査を行います。

◆**11月2日調査結果【精密検査】**　リンゴ6ヵ所、トマト1ヵ所、清水森ナンバ1ヵ所　3品目、8ヵ所で実施し、全てにおいて、放射性ヨウ素（131）・放射性セシウム（134・137）は検出されませんでした。

◆**市ホームページ**　現在までのモニタリング調査の結果等については、市ホームページでご覧いただけます。 http://www.city.hirosaki.aomori.jp/

■**問い合わせ先**　市農政課農産係
市役所新館4階☎35−1111内線586

【モニタリング調査結果書の利用について】

市の放射線モニタリング調査結果書は、弘前市で生産された農産物を出荷する際、放射線についての安全性の証明書としてご活用いただけます。

モニタリング調査結果書の原本証明を希望される方は、上記へお問い合わせください。

農地と担い手を守り、さらなる取り組みへ
「第55回青森県農業委員大会」
ＴＰＰ交渉参加撤回の要請などを決議！

県内の農業委員が一堂に会する第55回青森県農業委員大会が11月17日、弘前市民会館で開かれました。

「ＴＰＰ（環太平洋戦略的経済連携協定）への交渉参加撤回を求める要請」を含む５議案が、いずれも満場一致で決議されました。

800人で迫力のガンバロー三唱

議長をつとめる
弘前市農業委員会
横沢会長

決議事項はつぎのとおりです。

①東電原発事故対策に関する要請決議…原発事故の早期収束とともに、県内原子力関連施設の安全対策の徹底、風評被害への賠償、風評の払拭と安全ＰＲの徹底を求めるもの。

②農業の再生に向けた施策の充実に関する要請決議…震災復興支援、経営安定対策、担い手の確保育成対策、農地対策を求めるもの。

③ＴＰＰ交渉参加撤回を求める要請決議…ＴＰＰは日本の農林水産業に壊滅的な打撃を与え、食料確保と食生活の安全などに悪影響を及ぼす。加えて、食料自給率を50％まで引き上げるとした政府の基本計画と両立しないものであり、参加撤回を求めるもの。

④農地・農業委員会制度の堅持に関する要請決議…農地権利の取得にかかる農業生産法人要件のこれ以上の緩和は行わないこと、及び農業委員会制度の堅持を求めるもの。

⑤農業委員会の「さらなる取り組み」の推進に関する申し合わせ決議…農地パトロールの徹底、農地情報の収集・発信の拡充、担い手の積極的な確保・育成、女性農業委員ネットワークの強化、農地違反転用防止などに努めること。

今後、政府や国会、県関係機関などに対し決議事項の実現を働きかけていくものです。

また、今回の大会において、成田繁則委員（農地部会長、相馬地区選出）が農政功労賞を受賞しました。

議案を読み上げる
弘前市農業委員会
山本会長職務代理者

「大阪エリア弘前アップルウィーク」関西圏で弘前産りんごをPR！

弘前りんごの会（会長・葛西憲之市長）による「大阪エリア弘前アップルウィーク」が11月27日～12月３日に開催されました。

ウィーク初日には、「大阪市場まつり」や、大阪・なんばシティで行われた「大阪エリア弘前アップルウィーク開幕イベント」において、葛西市長をはじめとする弘前りんごの会の皆さんによるメッセージや、りんご娘による多彩なＰＲ活動が行われ、多くの人で賑わいました。

ウィーク期間中は、関西圏域の主要量販店における試食販売とともに「テレビCM放映」や「ＪＲ車両の中吊り広告」「液晶モニターのＣＭ映像」などでＰＲを効果的に連動させて、弘前産りんごを強力にアピールしました。

また、11月26日には「山口エリアＪＡ相馬村りんごキャンペーン」を開催し、山口県萩市の量販店で盛大にＰＲを行いました。

「よくわかったね！」大阪・なんばシティでの開幕イベントで、りんごのクイズに正解した少年へ景品を手渡す葛西市長

葛西市長と関係者が大阪市場まつりでPR!

萩市での販促キャンペーン

老後生活に備えて

農業者年金に加入しませんか

国が支える。安心が大きくなる
担い手積立年金（愛称）
農業者年金

農業者のための公的年金である農業者年金は、自分で納めた保険料とその運用益を原資として支給される「確定拠出型年金」です。また、一定の要件を満たす方には保険料の一部について政策支援（国庫補助）を受けることができるなど、農業者にとってメリットの多い内容となっております。老後の生活に備え、農業者年金への加入について考えてみませんか。

農業者年金に加入したい、もっと詳しく知りたい方は、下記へお問い合わせください。
■**問い合わせ先**　農業委員会農政係（市役所新館４階）☎40－7104、又はお近くの農協へ

農業者年金の特徴・メリット

○農業に従事されている方は誰でも加入できます。

20歳以上60歳未満である国民年金１号被保険者で、年間60日以上、農業に従事していれば、農地を持っていなくても誰でも（配偶者や後継者も可）加入できます。

○少子高齢化に強い年金です。

自ら積み立てた保険料とその運用益により将来受け取る年金額が決まる「積立方式（確定拠出型）」で、加入者・受給者の数に左右されにくい年金です。

○保険料の額は自由に決められます。

保険料は月額２万円から６万７千円まで千円単位で、自分で自由に設定でき、経営状況や老後生活に応じていつでも見直せます。

○終身年金で80歳までの保証付きです。

年金は原則65歳から生涯支給され、仮に80歳前に死亡した場合でも、80歳まで受け取れるはずであった老齢年金が死亡一時金として遺族に支給されます。

○税制面での優遇措置があります。

支払った保険料は、全額が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税が節税になります。また、将来受け取る年金は公的年金等控除の対象となり、65歳以上であれば、国民年金とあわせて年額120万円までは非課税となります。

○担い手を対象に保険料の国庫補助があります。

認定農業者で青色申告者であるなどの要件を満たした方には、保険料の国庫補助（月額最高１万円）があります。

近年続く異常気象に備えて
りんご共済『被害限定補償』
24年産申込み受付中！

安心のネットワーク NOSAI

【対象となる災害】…風害・ひょう害・凍霜害
【対象となる割合】…畑ごと型（樹園地単位ごとの減収量で計算）は３割以上、畑ならし型（すべての畑での減収量で計算）は２割以上の被害から共済金が支払われます。
【農家負担額と補償額】…申込みは箱数単位となります。
★**農家負担額は、およそ１箱54～86円**（『ふじ』の場合）
※品種・加入方式等によって異なります。
★**補償額は最高でおよそ１箱2,620円**（『ふじ』の場合）
※品種によって異なります。

○ **国が掛金の半分をあらかじめ負担！**
○ **防風ネット・防霜ファンがあればさらに割引！**
○ **弘前市が農家負担額（賦課金を除く）の15％を助成いたします！**

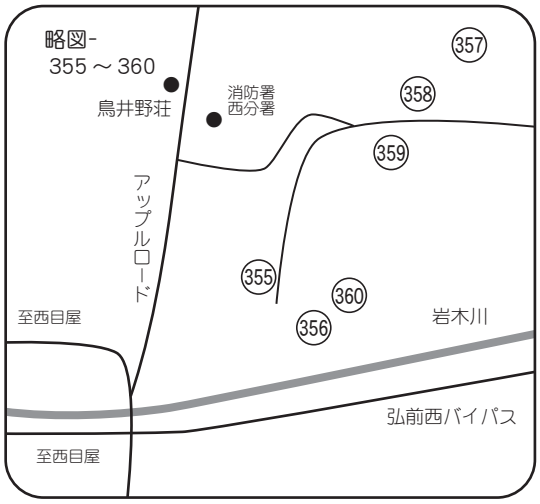
★**申込み締切　平成24年３月25日まで**
■**問い合わせ先**　ひろさき広域農業共済組合 ☎28－5700

訃報

佐藤繁美氏

農業委員の佐藤繁美氏（十面沢）が十一月二十四日、逝去されました（行年七十三歳）。
佐藤氏は平成十九年三月から三年間、農政部会長として活躍するなど、本市農業の発展に尽力されました。
謹んでご冥福をお祈りいたします。

農地流動化情報（新規）



申出区分	略図	農地の所在	利用状況	面積	希望売渡価格	備考
売りたい	355	鳥井野字宮本	水稲	29.23a	総額　220万円	価格は交渉次第
	356	鳥井野字宮本	水稲	58.54a	総額　490万円	
	357	龍ノ口字桜田	水稲	43.90a	総額　318万円	
	358	龍ノ口字桜田	水稲	1.93a	総額　14万円	
	359	鳥井野字宮本	りんご	51.80a	総額314万3千円	
	360	鳥井野字宮本	りんご	9.10a	総額　33万5千円	

■取扱窓口及び問い合わせ先
・農業委員会農地係（市役所新館４階）☎35－1111 内線489
・農業委員会岩木分室（岩木庁舎１階）☎35－1111 内線611
・農業委員会相馬分室（相馬庁舎１階）☎35－1111 内線841

お知らせ

全国農業新聞

全国農業新聞は、農業委員会系統組織の農業総合専門紙です。

農業・農村や食、農政の動きなどの情報を毎週１回お届けしています。

◆毎週金曜日発行　購読料１か月６００円

■申込み・問い合わせ先
市農業委員会農政係（市役所新館４階）
☎40・7104

農業委員会委員選挙人名簿登載申請書
～提出期日迫る～

農業委員会委員選挙人名簿登載申請書の提出期日が近づいています。

この申請がない場合は、選挙の資格要件を備えていても選挙人名簿に登載されず農業委員会委員選挙の際に投票できなくなりますので、１月10日（火）までに忘れずに調査員の方に申請書を提出してください。

また、申請書が郵送された農家の皆さんは、農業委員会事務局まで提出してください。（郵送も可）

なお、まだ申請書の用紙がお手元に届いていない方、又は用紙を紛失した方は、至急、農業委員会までご連絡ください。

■問い合わせ先
【弘前地区】農業委員会農政係（市役所新館４階）☎40・7104
【岩木地区】農業委員会岩木分室（岩木庁舎１階）☎35・1111内線611
【相馬地区】農業委員会相馬分室（相馬庁舎１階）☎35・1111内線841

2012出会いパーティー
～君と出会いたい人がここにいる！～

参加者募集!!

農業青年と一緒に、カクテルやワイン、食事を楽しみながらの交流パーティーでステキなひとときを過ごしましょう。

◆**日時**　２月４日（土）午後７時～
◆**場所**　弘前パークホテル13階「ステラ」（土手町）
◆**内容**　カクテルやワイン、食事を楽しみながらの交流パーティーを行います。
◆**対象**　おおむね20歳から45歳くらいまでの独身男女（ただし、男性は市内に居住する農業青年）
◆**参加料**　男性4,000円・女性2,000円
◆**定員**　男女各20名

■申込み・問い合わせ先
１月27日（金）までに弘前市青年交流会実行委員会事務局（市役所新館４階・市農業委員会事務局内）
☎４０－７１０４またはメール：nougyou@city.hirosaki.lg.jp へ

昨年のパーティーの様子

担い手等育成・集落営農等法人化に向けた補助事業のお知らせ

市農政課では、下表の補助事業を実施しています。補助事業の活用をお考えの方は、市農政課までお問い合わせください。

■問い合わせ先　市農政課農業振興係（市役所新館４階）
☎35－1111　内線581・582

事業名	事業内容	主な採択基準	補助対象経費	補助率
担い手等育成事業費補助金	農業経営等に関する研修会や異業種、都市消費者などとの交流等の取り組みに対し補助する。	規約等を有し、市内に住所を有する農業者10人以上で構成された団体	謝金や旅費、通信運搬費等の経費	２分の１以内（上限は10万円／団体）
集落営農等法人化支援事業費補助金	農業者及び集落営農組織等が行う農業生産法人の設立に向けた取り組みに対し補助する。	・市内に住所を有する農業者、または農業者で組織された団体 ・市内に事務所を有する集落営農組織	謝金や旅費、燃料費等の経費	２分の１以内（上限は10万円／農業者または団体）

謹賀新年

今年も充実した紙面づくりに心がけます。ご愛読のほどよろしくお願い申し上げます。

（前列右から）
山形良治編集委員
下山勇一編集委員長
山内知人副編集委員長

（後列右から）
相馬司幸編集委員
前田優考編集委員
名越武美編集委員